

平成 29 年度 KABSE 学生研修会

1. 内容

就職活動を控える学部・修士学生、高専生を対象に、道路や橋梁をはじめとした社会基盤設備の重要性や今後の展望について、ゼネコン、建設コンサルタント、官公庁、高速道路、鉄道、橋梁メーカーなどで活躍する若手・中堅技術者や女性技術者の皆さんに講演して貰います。実務内容の紹介、建設系技術者としての役割やこれから社会へ羽ばたく学生へのメッセージがメインテーマで、平成 28 年熊本地震での各業界の活動なども一部の講師にお話いただきます。

2. 主催

一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会(KABSE)

※ 一般社団法人九州地域づくり協会の人材育成助成事業の支援を受けています。

3. 日時

2017 年 10 月 28 日(土) 第 I 部：13:00～17:00, 第 II 部：17:15～19:00

4. 場所

福岡大学 工学部 5 号館 513 号室 (七隈キャンパス)

5. 定員

第 I 部 100 名, 第 II 部 50 名 (申込者多数の場合は先着順)

6. 参加費

第 I 部 研修会 無料 ※参加者へは、交通費としてその一部を補助します。

第 II 部 交流会 2,000～2,500 円程度 (飲食代として)

7. 第 I 部 研修会

12:15-12:45 受付 ※受付は時間厳守でお願いします。

13:00-13:10 挨拶 KABSE 運営委員会委員長 中村 聖三

13:10-13:40 (株)大林組 野中 雄一郎 氏

13:40-14:10 (株)長大 西村 一郎 氏

14:10-14:40 福岡県 田吹 泰孝 氏

休憩

15:00-15:30 九州旅客鉄道(株) 大澤 章吾 氏

15:30-16:00 川田工業(株) 山口 香里 氏

16:00-16:30 九州電力(株) (未定)

16:30-17:00 質疑

8. 第 II 部 交流会

17:15-19:00 福岡大学内 「ひだまり」

9. 申込・問合せ先など [申込締切日：10月13日(金)]

- ・ 氏名、所属、学年、所属研究室、メールアドレス、第 I 部・第 II 部のそれぞれの参加を申込時にご連絡下さい。なお、研究室単位で申込み頂ければ幸いです。
- ・ 当日、KABSE の学生会員として登録をお願いさせて頂く予定です。

一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会 事務局 進野久美子

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 6F

TEL/FAX 092-737-8570

E-mail : jim@kabse.com

今年で 12 回目の開催となる「学生研修会」が 2017 年 10 月 30 日（土）に福岡大学にて開催された。この研修会は、2006 年から年 1 回のペースで開催しており今年で 12 回目を迎えた。学生研修会とは、就職活動を控える学部生、修士学生、高専生を対象に、道路や橋梁をはじめとした社会基盤設備の重要性・現状・今後の展望について、ゼネコン、橋梁メーカー、建設コンサルタント、電力、鉄道、官公庁などで活躍する若手・中堅技術者の講演を柱の一つとしており、これから社会へ羽ばたく学生へのメッセージをメインテーマとしている。本年度は、6 名の講師に登壇いただき、各業界の仕事内容の他、H28 年熊本地震における初動対応についての報告や、各々の立場や経験を踏まえて働くことの意義についても講演いただいた。さらに、本研修会では、九州内の学生相互のネットワークを育成して、土木建設業への関心を高めて貰い、将来の九州の若手技術者を連携することも目的の一つである。

第 I 部（13:00～17:00）では、鐘ヶ江昭浩氏（(株)大林組）、西村一朗氏（(株)長大）、田吹泰孝氏（福岡県）、大澤章吾氏（九州旅客鉄道（株））、山口香里氏（川田工業（株））、長野起子氏（九州電力（株））、の第一線で活躍されている 6 名の講師に講演頂いた。また、KABSE の概要や取り組みについて、KABSE 運営委員長の中村聖三先生（長崎大学）に報告いただいた。第 II 部（17:15～19:00）では、講師と学生の立食形式による懇親会を催した。

参加者数は、第 I 部は学生 104 名（前年より 21 名増）、社会人 22 名（講師 6 名、他 16 名）、第 II 部は学生 70 名（前年より 2 名増）、社会人 23 名と賑わいをみせた。特に第 I 部においては過去最高の参加人数であり、遠くは長崎県や宮崎県からも参加した学生の姿があった。別紙に過去 5 年間の第 I 部の参加人数の変遷を示す。近年参加者が増え、本年度過去最高の参加人数であったことから、学生側の KABSE および学生研修会の認知度が年々上がっていることが伺える。

ここで学生研修会の実施後のアンケート結果の一部を紹介したい。学生研修会への参加の動機は、「先生からの案内」が一番多かったが、「内容で判断」と答える学生も多く、各大学・高専で過去に参加した先輩達から本研修会の内容が有益であったことを後輩達に伝わっている証であると考えられる。以下に講演に関する意見・感想の自由コメント（原文のまま）をいくつか紹介する。ほとんどが「参加してよかった」というポジティブな感想であったが、なかには今後の要望を挙げている学生もおり、今後の企画・運営に反映させていきたいと考えている。

- どの講師の方も話がわかりやすくて良かったです。自分が今まで、あまり興味をもっていなかった業界の話を聞いて興味が出たので参加して良かったです。
- 日頃聞くことができない講演を聞くことが出来て良かった。質問しやすい環境で行われていたため、質問もできた。
- 今までどの進路に進もうか悩んでいたけれど、今回の話を聞いて、行きたい方向性が固まってきたので良かった。
- 将来の進路を決めるにあたって参考になる講演でした。
- 女性技術者の話を聞いて、橋梁にとっても興味をもちました。まだ大学 1 年で橋につ

いて講義で学んでないけど、これからの講義が楽しみになりました。また、現在の女性技術者に対する働きやすい取り組みについて聞いたのは、ためになりました。

- 講演者の仕事の経歴について詳しく知りたいと思いました。講演者個人について注目した話が聞きたかったです。
- 会社・組織として行っているプロジェクトが多く知れて勉強になりました。リクエストですが、学生にとってより身近な情報である発表者本人の普段の仕事やタイムスケジュールといった具体的な情報があれば、より勉強になると思いました。

学生研修会に参加した学生たちが社会に巣立ち、九州を中心とした若い世代のネットワークが広がることを期待して、広報活性化小委員会としては今後も本研修会を継続していくことで、学生のキャリアプランや就職活動に対して有益な情報を提供していこうと思う。最後に、会場を提供して頂いた福岡大学の渡辺浩先生、千田知弘先生、また会場設営の準備を手伝ってくれた福岡大学の岩井耀平君、武田卓大君、宮本龍太君、山下就平君をはじめ、ご協力頂いた関係各位に深く感謝したい。なお、今年度の研修会は一般社団法人九州地域づくり協会の人材育成助成事業からの助成支援を受けて開催された。重ねて謝意を表す。

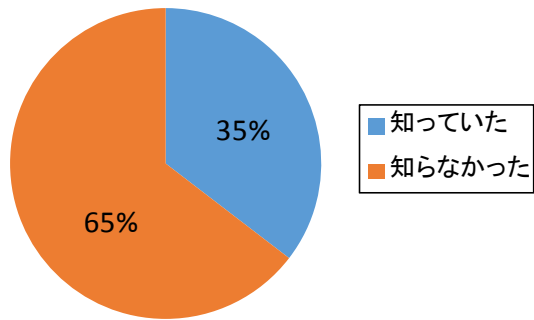


写真-1 第Ⅰ部

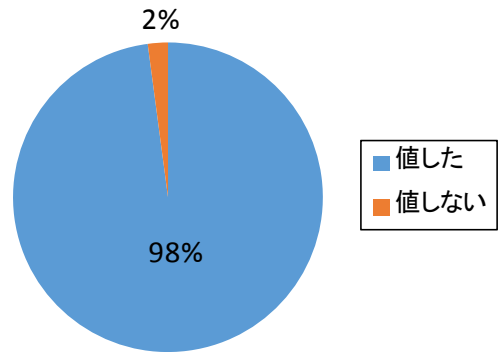


写真-2 第Ⅱ部

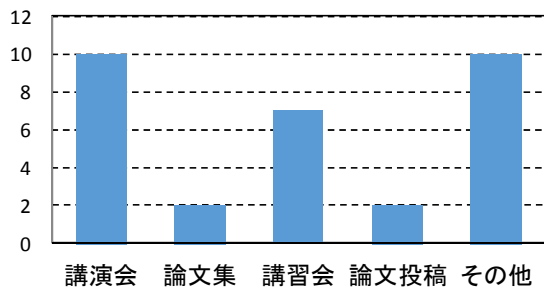
KABSEの認知度について



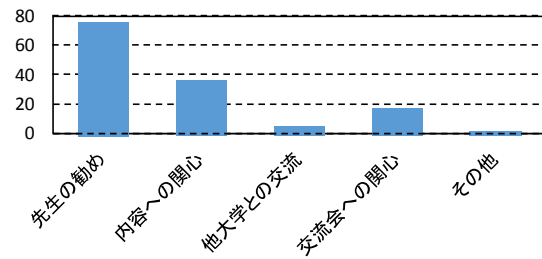
参加するに値したか？



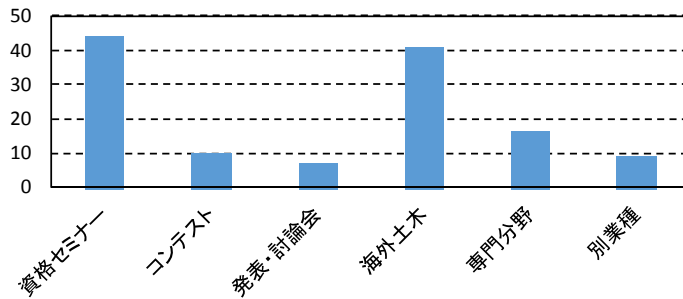
KABSEとの繋がり



参加の動機(複数回答可)



今後希望するイベント・内容(複数回答可)



第 I 部出席者の推移(H25~29)

